

輸出事業計画

※申請者名：丸啓鯉節株式会社、品目：鯉節

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・当社は、2016年度にHACCP補助金申請・採択後、北米向け、アジア諸国向け等を中心に輸出を拡大
- ・海外における日本食レストランは、アジア：122,030店、北米：28,650店、欧州16,180店であり、日本食需要の高まりが顕在化
- ・一方、欧州は輸出入で求められる衛生レベルが高く、貿易障壁となっている
- ・2021年にEU輸出水産食品取扱施設に係る認定（農水省）を取得し、年間2～3トンを出荷しているが、更なる拡大も想定可能
- ・抹茶の共同輸出の取組（2024年度に輸出・国際局長賞受賞）も実施

【課題】

- 保管工程：従来の温度管理では、近年の異常な湿度環境下で常温保存品でも衛生管理が困難
- 粉碎ライン：ハード面にて塗装の剥がれや錆が発生し、品質管理のリスクがある

2. 輸出事業計画の取組内容

【取組①】加工

- ・異物混入のリスクがない設備の導入、空調導入による適切な衛生管理の実施

【取組②】認証

- ・適切な設備への更新後、EU-HACCP及び対米HACCPの取得、更新の実施

【取組③】物流

- ・上記取組を適切に進め、事業者と連携した販売を実施

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	鯉節粉末		鯉節類（削り節類）	
	現状(R5)	目標年(R11)	現状(R5)	目標年(R11)
輸出額(千円)	23,452	46,274	35,662	67,222
輸出量(kg)	15,700	27,000	23,000	45,000
輸出先国	EU、台湾	EU、台湾	米国、マレーシア	米国、マレーシア